

第 11 次 横浜市消費生活審議会  
第 4 回消費生活協働促進事業審査評価部会  
会 議 録

日 時	平成 30 年 6 月 29 日(金) 10 時から 11 時まで
開催場所	松村ビル別館 501 会議室
出席委員 (3 人)	大森委員、河合委員、楊委員
欠 席 者	—
開催形態	公開 (傍聴者 0 人)
議 題	(1) 会議録確認者の選出について (2) 平成 29 年度消費生活協働促進事業について
決定事項	(1) 会議録確認者を、大森委員、楊委員とした。 (2) 平成 29 年度消費生活協働促進事業について
資 料	(1) 本部会名簿 (2) 実施団体一覧 (3) 事業評価表 (4) 実績報告書類等一式 (5) 事業相互評価シート (6) 申請書類一式

## 1 開会

**河合部会長**

本日は、お忙しい中、お集まりいただき、誠にありがとうございます。定刻になりましたので、第4回消費生活協働促進事業 審査評価部会を開会いたします。

はじめに、現在の出席委員について御報告いたします。委員総数3名中、只今3名の方が出席されており、横浜市消費生活条例 施行規則 第2条の規定により会議開催の定足数に達しております。

また、横浜市が保有する情報の公開に関する条例により、本日の部会は公開となります。本部会の議事録は、要約いたしますが、原則そのまま委員名と発言内容を公表させていただきますので御承知おきください。委員の皆様におかれましては、御発言される際に挙手いただきますようお願いいたします。本日は傍聴される方はいらっしゃらないようです。

## 2 議題

**河合部会長**

それでは、『1 議題(1)会議録確認者の選出について』に入ります。本日の会議録確認者ですが大森委員と楊委員にお願いしたいと思います。よろしいでしょうか。

～ 委員了承 ～

よろしく申し上げます。

**河合部会長**

それでは、『2 議題(2)平成29年度消費生活協働促進事業の評価について』に入ります。事務局から説明をお願いします。

**事務局**

本日の進行について御説明いたします。

これから、平成29年度に実施した事業の報告を、一団体ごとに行います。

まず、団体から事業報告を行います。次に、事務局から、行政からの評価であります「事業実施プロセス相互チェックシート」の説明をします。その後、団体ごとの評価について、委員の皆様には審議いただきたいと思っております。

また、本日お配りしている資料の確認をさせていただきますが、これ

から報告する内容につきましては、資料3から資料6を参考に御覧いただければと思います。資料3は団体ごとに作成していただきました事業評価表となっております。資料4は各団体から提出された事業報告書等となっております。資料5は団体と行政で、協働事業ということで作成させていただきました事業の相互評価シートとなっております。資料6は申請書類一式となっております。説明については、以上になります。

**河合部会長**

今の説明について、何か質問等ございましたらお願いします。大丈夫でしょうか。それでは、これより事業評価に入ります。

**河合部会長**

それでは、特定非営利活動法人 森ノオト様ご報告をお願いします。

**特定非営利活動法人 森ノオト**

森ノオトの齋藤と申します。よろしく申し上げます。平成29年度の企画として、「農家のお母さん発！横浜の地産地消を未来につなぐ体験講座」を8回にわたって開催させていただきました。女性農業者の生き方や知恵、技術を次の世代に伝え、横浜の地産地消を未来につなぐというテーマだったのですが、このテーマが硬かったというのもあり、1番最初にチラシを配った時、集客に大変苦労しました。実際には、全8講座を8月から3月まで開催して、94名の方に参加していただきました。最初は、参加者が少なかったのですが、だんだんと参加者が増えました。リピーターが多かったのですが、興味がある方、次も参加して、理解を深めたいという方が非常に多かったです。こちらの資料は、森ノオトが実際に配信した記事です。10回配信しました。8講座の紹介だったのですが、プラスこのような企画をしておりますという案内のようなものもありましたので、全部で10回になっております。これらは、他の記事に比べて、多くの方に見ていただきました。地産地消であるとか、女性の活躍、農家の方の声が聞こえますよというところが、浸透して行って、本当に興味のある方に届いたのだと思います。森ノオトは、今まで、お母さん向けの企画が多かったのですが、今回の企画に関しては、幅広い方、かなり年配の農業に関わっている男性、遠方の方でこれから農業をやりたいという方にも、非常に興味を持って参加していただきました。最初の1回目、お盆料理の講座の講師である岡部妙子さんは、緑区で活

躍されていて、名前を知っている方が多くいらっしやって、地産地消や、地域の伝承文化を広めたいという考えを、御自身も強く持っていて、色々やっぴらっしやる方です。初回の岡部さんの会は、集客ができず、非常に苦勞しました。その後、行政の方に協力していただいたら、今まで私たちでは届かなかった地域の方からの問い合わせがあり、参加者が非常に増えて、こういう情報を知りたい方が、たくさんいらっしやるといふ事を知りました。2回目の旬の浜なしの加工の会の講師である坂田静江さんは、青葉区では大変有名な方です。JA直売所に行くと、だいたい坂田さんの加工品が置いてあります。坂田さんがどういふ経緯でそういうことをされているのかといふこと等を、本当に興味がある方にお伝えできたといふのが、やっぴらいて実感したことです。4回目の講師の平野フキさんは、お名前だけで、キャンセル待ちが発生しました。この回が終わった後には、若手のこれから就農したいといふ方が、弟子入りされたといふことです。平野さんが、女性でありながら、銀行の通帳を自分で持つ事ができなかった農家の嫁の時代から、どうやって今の地位を作っぴらいていったのかといふお話が、特に女性は、若い方もお母さん世代も、年配の方にも、色んな方に響いた会でした。5回目の講師の三澤さんの回では、手作りこんにゃくの正月料理を紹介していただきました。今は、スーパーに行くと、どんな食べ物でも出回っぴらいてるので、若い方には、旬のものが分からない方が多くいらっしやいます。JAに買い物に行くと、その時期のものしかないのですが、スーパーだとなんでも並んでいふます。そうではなくて、こういう方々が作っぴらいて、今のこの時期だから美味しいのだといふのを、作っぴらいてる方々からお話していただいたところ、皆さんに興味を持っぴらいていただいたと思ひます。あと、地産地消で、自分たちが作っぴらいてるお野菜を紹介したいとおっしやって、料理を作っぴらいていただいたのですが、農家の方は非常に忙しいので、調味料は味の素を使っぴらいていますとか、そこまではこだわれないけれど、男性と同じように仕事をして帰っぴらいて来て、すぐに温かいものを出してあげたいといふところにも、参加者の方に興味を持っぴらいていただけました。これは、岡部さんの会の時の写真です。お盆を知らない方、実は40代、50代の方でも、お盆のこういふた事をやっぴらいたことがない、ナスとキュウリがこんなかっぴらこうをして並んでいふことが分からないといふ方が非常に多くいふました。私もこの回をやる前に下調べをして分かったといふ状態でしたので、こういふた事を伝へていける場を、もっと広くやっぴらいてきたいと感じました。講座が終わっぴらいても、参加者の皆さんは、講師に質問していふました。農家のお母さんに会える機会といふのは実はなくて、

加工品等で名前を知っている、この方がこの人なのねというように、身近に感じられたのだと思います。これによって、地域の物を地域で、あの人のものを食べたいといった気持を皆さんが持って帰られたと、アンケートをいただいた時に、そういった声がたくさんでていました。これは、講座の様子の写真です。農家のお母さんたちと一緒に調理をしながら会話をするというのは、嫁と姑の関係のような、楽しい雰囲気、調理実習だけに終わらず、これまでの皆さんの話を伺ったり、すごく有意義な時間を過ごさせていただきました。こちらは、7回目のひな寿司の回の写真です。竹が豊富な地域で、そこに海苔と食材を置いてひな寿司を作るといった講座です。もともと子供たちや地域に向けて開催していたのを、今回の講座で開催していただいて、たくさんの方に参加していただきました。地域の人と交流をして話しをする事で、この講座が終わりになればなるほど、リピーターの方が多くなり、参加者同士もお友達になったというくらいに、ファンが増えた講座でした。ファンが増えるということは、欲している人が多いのだと思います。そういう方に届けていけるようになるといいなと思っています。こちらはアンケートから抜粋したものです。アンケートは普段はあまり書いていただけない事が多いのですが、びっちり書いていただいていたので、それだけ思いが強くあったのだなと感じました。この地産地消に関わる企画は、何かのかたちで、続けていきたいと考えています。ありがとうございました。

#### 河合部会長

それでは、事務局からの報告をお願いします。

#### 事務局

本事業の相互評価の報告をさせていただきます。

資料5の2「事業実施プロセス相互チェックシート」をご覧ください。こちらは、森ノオトさんに、団体としての評価を入れていただいております。行政としての評価は、経済局消費経済課が評価を入れております。こちらの評価基準は3つ、「よくできた」がA、「ふつう」がB、「あまりできなかった」がCです。

事業の実施にあたっては、事業実施前の団体との打合せにおいて、それぞれの役割分担について話し合って取り組むことができました。また、事業実施段階においても、小まめに連絡を取り合いながら、団体は

ウェブでの情報発信、行政は市の広報媒体への掲載や区役所等へのチラシの配架、消費生活推進員さんのイベントでの紹介といった、お互いの強みや得意分野を活かした広報活動を行うことができました。

参加者のアンケート結果からも、多くの方に満足していただいていることから、団体、市民にとって有益な講座であったと思われるため、このような評価とさせていただきます。事務局からの説明は以上です。

#### 河合部会長

それでは、委員の皆様から事業に対する御質問をお願いします。

#### 楊委員

ありがとうございました。拝見したお写真からも楽しそうな雰囲気が伝わってきました。アンケートからも皆さんが満足されている様子わかりました。私も生協にいるので、生産者の方と組合員さんが会って話しをしたり、一緒に料理を作ったり、畑や田んぼに行って作業をしたりするのを、作っている方の顔が見えるという事で、とても親しみをもって、それを買いたいという気持ちになるというのをよくお聞きしますので、良い取り組みだったのではないかなと思います。ただ、最初のうちは集客がといった話しがありましたが、全体的に定員には達したのでしょうか。1回だけキャンセル待ちで、あとは定員に達していなかったのでしょうか。

#### 森ノオト

フキさんの時は、定員に達してキャンセル待ちがありました。後半は、ほぼ定員に達しました。3回に分けてチラシを配布したのですが、私たちは、ここで開催されるから、まさか保土ヶ谷から来る人はいないだろうというように、開催する地域周辺の集客に必死になっていました。行政の方にチラシを色んなところに置いていただいて、遠方から来る人が増えたんです。1回目、2回目は、定員に達しませんでした。3回目以降は、ほぼ定員に達しました。キャンセル待ちが早かったのがフキさんの回ですが、後半はだいたいキャンセル待ちがでていた状態です。

#### 楊委員

早い段階から、行政と連携されて広報されたのが素晴らしいなと思い

ました。打合せ等がきちんとされていたのだろうなと感じました。

#### 大森委員

地元の地域の伝統を伝えていくというのは、先ほどお盆行事の話がありました。確かに今は、若い人たちは知らないのではないかと思います。そういった事を地域で取り組むことは大変良いことだと思います。こういった取組みを広げていかれたら良いのではないかと思います。集客の件について質問がありましたけれども、行政との連携がいち早くできたということで、それもよかったのではないかと思います。

#### 河合部会長

農家の女性の地位というのは、消費者には伝わりにくいというのがあると思います。美味しいものを提供していただくだけでなく、伝統を大切にしながら、女性の地位向上というような背景を知るとというのは、皆さんの力になるのかなと感じました。男性や年配の方もいらしていただいたということで、活動の広がりがあったことは素晴らしいことだと思います。ニーズがあるということをお気づきになったということで、こういった活動をこれからどのように広げていくかということは重要であり、必要なことであると思います。森ノオトさんだけでなさるのは難しいと思いますので、他の団体との連携とか、農家従事者の方に企画を自らしていただくような事をお考えでしたら、教えていただけますか。

#### 森ノオト

おっしゃる通りです。続けていきたいですが、私たちだけでは専門でないことが多くあります。地域の農家さんとの間にいる方、はまふうどコンシェルジュ、生協の方、そういった方がたくさんいらっしゃいますが、そういった方がもっとネットワークを組めるような、私たちが専門家でないので、専門家を集めるような場を設けるとい、今回の講座のような、同じ会場で15人で、参加費を支払ってというのではなく、敷居を低くして、たくさんの方が参加できるような、そういった形ができないかなと今は考えています。私たちが何かをするのではなく、私たちがつないでいくといった事ができると、私たちだけではできない大きな広がりをもてるかなと思っています。

**河合部会長**

皆さま、他に何かありますでしょうか。大丈夫でしょうか。では、ありがとうございました。

～団体入替え～

**河合部会長**

それでは、次の団体の事業評価に移ります。神奈川県ファイナンシャルプランナーズ協同組合様ご報告をお願いいたします。

**神奈川県ファイナンシャルプランナーズ協同組合**

神奈川県ファイナンシャルプランナーズ協同組合 佐藤と申します。報告については、主に、資料4を中心にお話させていただきます。昨年の10月1日と29日の2回に分けてセミナーを開催しました。大きなテーマとしては、消費者市民社会の実現をテーマに、エシカル消費ということで設定しました。第1回10月1日の講座では、第1部は家庭で出来るCO2削減、第2部はシェアリングエコノミーの仕組みと問題点、第2回10月29日の講座では、第1部で地産地消の木材を使った住宅の普及・山林の有効活用によるエシカル消費、第2部が住宅新時代に備える省エネ住宅の動向と税優遇のセミナーを行いました。エシカル消費というテーマについては、新しい概念で、私どもも初めてでなかなか頭の中に入ってこなかったのですが、受講者の方から、内容をもっと説明してほしいといったことが、アンケートにもありました。広報については、横浜市の協力で、18区役所にチラシをまいたり、広報よこはま9月号に掲載しました。他には、お金がかかりましたが、タウンニュースにのせました。結果から言いますと、10月1日は、応募が13名で、来られたのは9名、10月29日は8名応募があつて、5名参加ということでした。参加された方からは、満足であるというアンケートの結果はいただいております。第1回目の第1部のセミナーのテーマである、CO2削減というのは、ニュースでもよくでる問題ですが、目標を達成するためには、各家庭、個人個人の意識が大切です。身近なところで、電気製品のパソコンやエアコンの使う時間を削減するとか、住宅に関しては、断熱材を使うといったことが、CO2削減の方法かなと思います。第2部のシェアリングエコノミーというのは身近でいいますと、カーシェアリング

です。最近の若い方は車を持つ人が減ってしまい、シェアリングやレンタカーをしているということを聞いております。最近のシェアリングは、民泊というのが話題になっておりますが、難しいというか、進めようとしていても問題点が多くて、難しいかもしれません。4つのセミナーの中で、地産地消の話をしたのは、第2回目の第1部の回です。木材はほっておくとごみになってしまうので、それをトレーサビリティとって、追跡調査をして、いかに有効活用するかという観点が大切です。第1回目のCO2削減とつながるところもあるのですが、第2部は住宅にしぼって、高断熱とか高气密といった省エネハウスについて話をしました。この話は中身が多くて、聞いている側は、参考になったけれど、消化不良だったといったこともあったようです。他に、税の軽減につながる制度もありますので、そういった事を踏まえての長期優良住宅という話をしました。報告書の最後にアンケートにあります。冒頭に申し上げた「エシカル消費とはどういった消費行動についてなのか、初めに話していただければ良かった」といったこと等が指摘されました。問題になったのは集客です。神奈川県ファイナンシャルプランナーズ協同組合というのは、もともとFPという金融に関する相談を中心にやっている団体で、従来は消費者被害の未然防止をテーマにやってきたのですが、それではやっていけない、横浜市の要請するところに合わないということで、こういった事業を実施しました。今後は、消費者市民社会の実現をテーマにした事業が、根づいた活動をしていければと思います。

#### 河合部会長

それでは、事務局から評価シートの説明をお願いします。

#### 事務局

それでは、本事業の相互評価の報告をさせていただきます。

資料5の神奈川県ファイナンシャルプランナーズ協同組合さんの「事業実施プロセス相互チェックシート」を御覧ください。こちらは、神奈川県ファイナンシャルプランナーズ協同組合さんに、団体としての評価を入れていただいております。

行政と団体で評価が異なる点で説明させていただきますと、②事業実施段階の7「事業の実施について、市民に発信することができましたか」といったところで、団体がBをつけておりますが、私どもがAをつけた

というのは、広報よこはま、ホームページ、Twitter への掲載といった市の広報媒体の利用と、区役所や消費生活総合センターでのチラシ配架を行ったということで、市民に発信することができていると考え、A を付けさせていただいております。

参加者のアンケート結果から、ほとんどの方が満足しているとの回答があり、本事業をきっかけに、家庭でできる環境に配慮した取組みやその結果についての理解を深めることができたと考えております。

事務局からの説明は以上です。

**河合部会長**

それでは、委員の皆様から事業に対する御質問をお願いします。

**大森委員**

テーマからすると、難しいと思われる方が多かったかもしれません。セミナーに関していうと、かなり工夫をされて、CO2 削減について普及啓発していこうとされていると感じました。集客に関しては、広告費にかなり予算をとられておりますが、その効果があまりなかったということで、残念ではありました。団体の組合員さんは、70 人ほどいらっしゃるということですが、そこにも声をかけたのでしょうか。

**神奈川県ファイナンシャルプランナーズ協同組合**

協力をお願いしたいと、声をかけました。

**大森委員**

組合の活動の趣旨からすると、かなり離れているところで、取り組まれています。組合員さんがもう少し理解を示してもらっても良かったのではないのでしょうか。

**神奈川県ファイナンシャルプランナーズ協同組合**

事務局の働きかけが、足りなかったのかもしれません。メールでながすといったことはしたのですが。私どもの団体は集客が足りないときは、組合の中で集めていましたが、時間の関係もあったのかもしれません。組合員の半分は専業でやっていますが、半分は他で働きながらやっ

ている賛助会員になります。今回の講座には、賛助会員の方が参加されていきました。FP以外のテーマになると、頭が硬くなっているというところがあるかと思います。今後は、今回のようなテーマは、避けて通れないテーマなので、FPのテーマだけになることがないようにと考えています。

楊委員

資料を見させていただいて、1講座が1時間弱くらいかと思います。

神奈川県ファイナンシャルプランナーズ協同組合

50分です。

楊委員

とてもボリュームがあって、詳しい内容でされていたのだなと思いました。

神奈川県ファイナンシャルプランナーズ協同組合

日にちを増やしてとも思いましたが、会場の確保などの問題もあり、結局、4回のセミナーにしました。

楊委員

4回でも良いと思うのですが、中身をもう少し精査して、コンパクトにされて、分かりやすい言葉でできたら、リピーターの方もいたかもしれないと思いました。テーマとしては、大変重要ですので、こういった取組みは意義があることだと思いますが、難しかったのかなと思いました。

神奈川県ファイナンシャルプランナーズ協同組合

そうですね。詰め込みすぎたかもしれません。

楊委員

そういったことで、口コミとかで広がる事がなかったのかなと感じました。

河合部会長

日曜日に開催したというのは、何か意味があるのでしょうか。

神奈川県ファイナンシャルプランナーズ協同組合

土曜日か日曜日にするか悩んだところであります。私どもが開催するセミナーは土日の開催が多いのですが、日曜日の方が集客が多いというのが、過去の経験にあります。テーマによるところもありますが。

河合部会長

参加者の男女比はいかがですか。

神奈川県ファイナンシャルプランナーズ協同組合

女性が多かったと思います。

河合部会長

年齢的にはいかがですか。

神奈川県ファイナンシャルプランナーズ協同組合

若い方もいらして、幅広かったです。

河合部会長

それは良いことですね。

FPの方がこういった課題に取り組みられて、挑戦された事は素晴らしいと思います。FPというと、お金の事といった先入観がありますが、幅広く、エシカル消費について考えつつ、エコノミーだけでなく、エコロジーについても考えているんだという事をアピールするというのは、評価ができる事だと思いました。

神奈川県ファイナンシャルプランナーズ協同組合

ありがとうございます。今後も続けていきたいと思っています。

河合部会長

続けていくに当たっては、内容が難しすぎるというのはあるかもしれません。

神奈川県ファイナンシャルプランナーズ協同組合

おっしゃる通りです。講師からも資料が多すぎたかなといった話しは聞いております。その反省を踏まえたいと思います。これですと、頭に残らないというのはあるかと思います。

河合部会長

今後、続けていきたいという事ですが、今までの活動の反省を踏まえて、どのような形で続けていかれるのか、何かアイデアはありますか。

神奈川県ファイナンシャルプランナーズ協同組合

横浜市の協働事業で、同じものをというわけにはいかないでしょうから、ホームページで発信していくとか、地道な活動でやっていきたいと思います。最近の活動は、行政からの要請で、生活困窮者の相談が多くなって、そういった活動が中心になってきているので、難しいですが、並行してやっていきたいと思っています。

河合部会長

会員のFPさんにも、そういった考えを浸透させるような活動をされたらいかがと思いました。

ありがとうございました。

～団体退出～

河合部会長

お疲れ様でした。何か、最後に全体を通じて、総評や感想があれば、お願いします。

#### 楊委員

森ノオトさんは、中心になっている方が若い方という事もあって、そういった感性でされているのかなと感じました。同じ世代の方に響いたというのがあって、集客もあったのかなと感じました。

神奈川県ファイナンシャルプランナーズ協同組合さんは、個人でやっていらっしゃる方たちの団体なので、皆さんで協力してこういった講座を作り上げるというのは、難しいのかなと感じました。講師の方々は、FPの資格を持ちつつ、他の資格を持っていらして、それを活かした講座だと思えますが、それが裏目に出てしまって、専門的な知識が前に出てきてしまっているのので、一般の参加者のニーズに合うような内容を作れたら良かったのかなと感じました。

#### 大森委員

神奈川県ファイナンシャルプランナーズ協同組合さんは、御自身が、日ごろやっていたいなかったテーマに取り組みされたというのは、評価される事だろうと思うのですが、座学中心で、少し敬遠されがちなテーマだったので、座学中心ではない形に工夫されたら良かったのかなと思いました。お子さんたちにも広げて、実験のような事を行うとか、興味を持ってもらえるような工夫をされたら良かったのかなと思いました。大変重要なテーマではあるわけですから、誰かしらがこれをやらないといけないとは思いますが、是非、続けていただければと思いました。

#### 河合部会長

森ノオトさんは、様々な活動に熱心に取り組まれていて、広報もお上手で、何も申し上げる事はないと思います。

神奈川県ファイナンシャルプランナーズ協同組合さんは、FPがこういったことにテーマを広げて、講座を行うというのは聞いた事がないので、素晴らしいと思いました。ただ、役員さんの想いと、組合員さんが一致しないところもあったのかなと思います。

#### 大森委員

確かに、資料は難しかったかもしれませんが、でも、私も目を通しましたら、ためになりました。暮らしの知恵や、良いデータが掲載されていました。

#### 河合部会長

やはり、内容プラス方法ですね。何か工夫が必要ですね。

以上でよろしいでしょうか。ありがとうございました。

では、最後に事務局からお願いします。

3 閉会	<p><b>事務局</b></p> <p>長時間に渡りご審議いただきまして、ありがとうございます。ここで、30年度の実施事業について、報告させていただきます。先日、2団体を採択していただいた旨の記者発表を行なったところです。また、現在、実施に向けて、選ばれた2団体と調整を行っております。事業の実施は、7月以降になる予定です。</p> <p>9月に開催を予定しております、第11次消費生活審議会で、部会の報告を行います。内容について、部会長と相談の上、報告させていただきます。</p> <p>また、第11次審議会の協働部会としましては、本日が最後の開催となります。委員の皆様におかれましては、本事業の推進にあたり、御協力いただきどうもありがとうございました。</p> <p>事務局からは以上です。</p>
	<p><b>河合部会長</b></p> <p>これで、平成30年度第4回消費生活協働促進事業審査評価部会を終了いたします。ありがとうございました。</p>